

平成17年度北西太平洋サンマ長期漁海況予報会議 東北海区海況予報

平成17年8月10日

独立行政法人水産総合研究センター 東北区水産研究所

<<今後の見通し(2005年9～11月)>>

- (1)近海の黒潮の北限位置は、平年並～やや南偏(35°30'N～36°30'N)で推移する。
- (2)黒潮系暖水の北限位置は、近海で南寄りに推移する。
- (3)釧路南東沖合、三陸沖の暖水塊は北東に、常磐沖の暖水塊は北西に移動する。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、やや北偏(41°N以北)で推移し、三陸～常磐近海に冷水域が残る。
- (5)親潮第2分枝の張り出しは、平年並～やや北偏(39°30'N以北)で推移する。
- (6)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並(143°10'E付近まで)で推移する。

(海況の経過(2005年1月～2005年6月)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、1月は平年並(36°40'N)であったが、2月以降はかなり南偏～やや南偏(35°20'N～36°N)で推移した。
- (2)1月に三陸沖に現れた暖水塊は2月に北上し、3月以降、釧路の南東沖合に停滞した。5月には三陸沖に、6月には常磐沖に暖水塊が認められた。
- (3)親潮第1分枝の南限は、2月までは著しく南偏～やや南偏(38°30'N)であり、3～4月にやや北偏～著しく北偏(40°10'N～41°10'N)に転じ、5～6月には平年並(40°N)となった。また、2月以降、第1分枝に連なる冷水、あるいは冷水域が、三陸～常磐近海に分布した。
- (4)親潮第2分枝の南限は、平年並～やや北偏(39°30'N～40°30'N)で推移した。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、1月には平年並であり、2～4月にはやや強勢から著しく強勢となり、5月に平年並となったのち、6月にやや強勢となった。
- (6)東北海区の表面水温は、5月まで平年より低めで推移し、6月に平年より高めになった。

(現況(2005年7月)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、やや南偏(36°N)である。
- (2)暖水塊が、釧路の南東沖合約270km、三陸沖約120km、および常磐沖約330kmにある。
- (3)親潮第1分枝の張り出しは、やや北偏(40°40'N)であり、連なる冷水がある。
- (4)親潮第2分枝の張り出しは、平年並(39°20'N)である。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並(142°50'E)である。

注：現況および今後の見通しは図を参照のこと。

「近海」は146°E以西、「沖合」は146°E以东を表す。

* 表面水温・人工衛星情報による。